



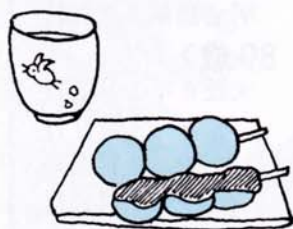
「釜の越桜」 川柳・小林たけ

さくら回廊デイサービスセンター

デイ・サービスセンターでは、四月の行事お花見ドライブを、四月三十日から五月八日まで、各地区ごとに行ないました。今年、さくら回廊のパンフレットもでき、どこへ行っても人・人・人でした。今回は、荒砥・東根・鷹山地区の皆さんをご紹介します。



▲スポーツ公園にて荒砥十王地区の皆さん



▲かぶと松にて東根地区の皆さん

五月一日・小雨の中お花見ドライブが催され、しだれ桜から始まり、名所巡り七ヶ所も観賞させて頂きました。どの木も老木ですが、見事な花を咲かせ万人の方々の目と心を楽しませてくれます。樹齢数百年と聞く時、東北の風雪や暑さを越して、強い樹木と思わずにはおられません。杉林の残雪を見ながら、スポーツ公園のあずま屋で休憩。喉をうるおしながら、広い風景と川の流れを眺めることができ満足です。最後に記念写真。ほんとうに楽しいドライブでした。家にこもりがちの老いの身には、大変良い思い出となりました。

お花見ドライブに参加して

五十嵐 たけ

五月一日・小雨の中お花見ドライブが催され、しだれ桜から始まり、名所巡り七ヶ所も観賞させて頂きました。どの木も老木ですが、見事な花を咲かせ万人の方々の目と心を楽しませてくれます。樹齢数百年と聞く時、東北の風雪や暑さを越して、強い樹木と思わずにはおられません。杉林の残雪を見ながら、スポーツ公園のあずま屋で休憩。喉をうるおしながら、広い風景と川の流れを眺めることができ満足です。最後に記念写真。ほんとうに楽しいドライブでした。家にこもりがちの老いの身には、大変良い思い出となりました。



▲十二の桜にて鷹山地区の皆さん

大満足の一日

大滝 きち

きょうは、最高の花見日和。車の窓から眺める朝日連峰。まだ白い衣を着ていて、その姿が絵のようでも感動的でした。

いよいよ釜の越桜。花見客が沢山おり、花も満開。あの老木は、何百年もの間咲き、人々の心を和ませてくれたことか。

十二の桜も満開。腰をおろして、ジューズで一服。桜の下には年を重ねた彼女達。昔は花も咲かせた美人達を、十二の桜は見下ろしている。「私を見る」とは言わないだろうがそんな気がした。足の悪い方も、職員の方々に導かれ、みなさん大満足の一日でした。また来年も、お花見のできることを祈っております。

趣味のコーナー

盆栽 上野周太郎 (八十七歳)

盆栽に関しては右に出る者無し。不要になった湯のみや小鉢で格好の鉢を造り、五葉松、バラ、カエデなど身近な植物で数々のミニ盆栽を仕立て、日々愛情を注いでいる。

又、入所後始められたという色紙絵は、どの絵も素晴らしく見る人を唸らせる。「霊峰富士山」等の雪山や、草花が得意である。

現在は、「米寿の記念に」と故郷の山「頭殿山」の絵を製作中。



手芸 志釜 うめ (七十三歳)

手芸の中でも折紙細工を得意とする。くす玉だけでも三十種類ほど折ることができ、園内外の展示会に数多く出品し好評を得ている。

又、輪投げの選手としても大活躍。手足にハンディのあることなど微塵も感じさせず、県大会・置賜大会等で入賞すること数知れず。団体戦・個人戦、共に本人抜きには語れない。



毎朝六時には起きて、花の水をかえたり掃除をされたりと、何事にも率先して取り組む姿が実に素晴らしい。

器楽クラブ



昭和56年発足。音楽を通して心身の低下を防ぐこと、白光園寿まつりや県老人ホーム芸能祭に参加することを目標にクラブ活動を楽しんでいきます。今まで取り組んだ曲は30曲以上。

最近の発表曲

- ☆平元 「まっ赤な太陽」「港町十三番地」
- ☆平二 「人生いろいろ」「みかんの花咲く丘」
- ☆平三 「365歩のマーチ」「村のかじや」
- ☆平四 「愛は勝つ」「白鷹音頭」
- ☆平五 「上を向いて歩こう」「星降る街角」
- ☆平六 「浪花節だよ人生は」「遥かな人へ」
- ☆平七 「もじ」「春よ来い」「NHK連続ドラマ主題歌

すてきに奏でて

白光園器楽クラブは、昔なじみの曲から今話題の曲まで、幅広く演奏する平均年齢80歳代のお達者オーケストラです。

音と音、息と息がぴったり合った時の感動は、一人では味わえない素晴らしいものです。

今年、「TOMORROW」アスファルトに咲く花のように力強く、「ドナウ河のさざなみ」のように美しく、人生を奏でてきた方々の素晴らしい演奏です。今年もがんばります。

クラブ紹介

